

音楽ボランティア「音寧の会」

重症心身障害病棟では、音楽ボランティア「音寧の会」の方々に来ていただき、音楽会を開催しています。

「音寧の会」は、医療機関と連携し、病院内演奏を基本的な活動としています。院内演奏の目的は、患者さんおよび関係する人々の心を穏やかにし、そしてひとときの安らぎを提供することとしています。音楽療法の一環としてではなく、あくまでも「音を楽しむこと」、「生の演奏」を体験してほしいとの思いで活動しています。

今年度は、5回の音楽会を予定しており、第1回目は、6月8日に行われ、「モンゴルの風を感じて」というテーマで、馬頭琴とギターを演奏していただきました。馬頭琴とは、モンゴルで古くから用いられており、とても縁起の良い楽器と言われているそうです。民族衣装を着て演奏していただき、よりモンゴルの音楽を感じることができました。

第2回目は、7月24日に行われ、「こころのふれあい」というテーマで、ライアーを演奏していただきました。病室ごとに即興で演奏していただき、利用者さんの喜ぶ姿が見られました。演奏者の方の音楽に込めた想いが利用者さんに伝わっていることが感じられる音楽会でした。

第3回目は、9月14日に行われ、「テルミンの不思議な世界」というテーマで、テルミン、ライアー、ギターを演奏していただきました。テルミンとは世界初の電子楽器です。楽器に触れることなく、手を近づけると音が鳴るとも不思議な楽器です。テルミンには、マトリョーシカのような形をした小型のマトリョミンという楽器もあります。利用者さんもマトリョミンの演奏を体験しました。どこから音が出ているのだろう？という不思議そうな表情を浮かべており、まさにテルミンの不思議な世界に触れることができました。

演奏曲は毎回、みんなが知っていて、一緒に歌ったりリズムを取ったりして楽しめるような曲を選んでくださいます。また、スタッフの方々は、綺麗な音色を届けようと、音響等に配慮して念入りな準備をしてくださいます。利用者さんのことを想って音楽会を開催してくださる「音寧の会」の方々には本当に感謝しています。

11月と来年3月に第4・5回目の音楽会を予定しています。「音寧の会」の方々と協力し合い、利用者さんに音楽を通して楽しい時間を過ごしてもらえるような音楽会にしたいです。

